

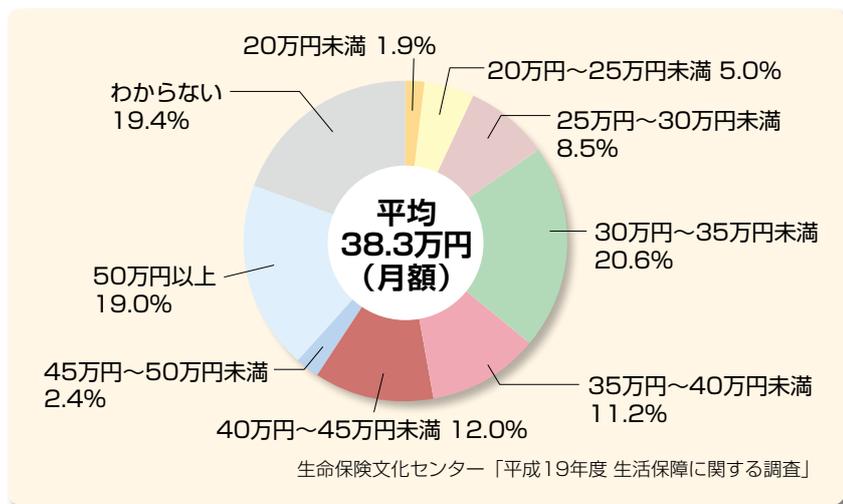


あなたのセカンドライフ資金

将来のセカンドライフ資金について考えていますか？

ゆとりある老後の生活費はいくらでしょうか？

ゆとりある老後のための生活費は**夫婦二人で毎月約38.3万円**必要と考えられています。

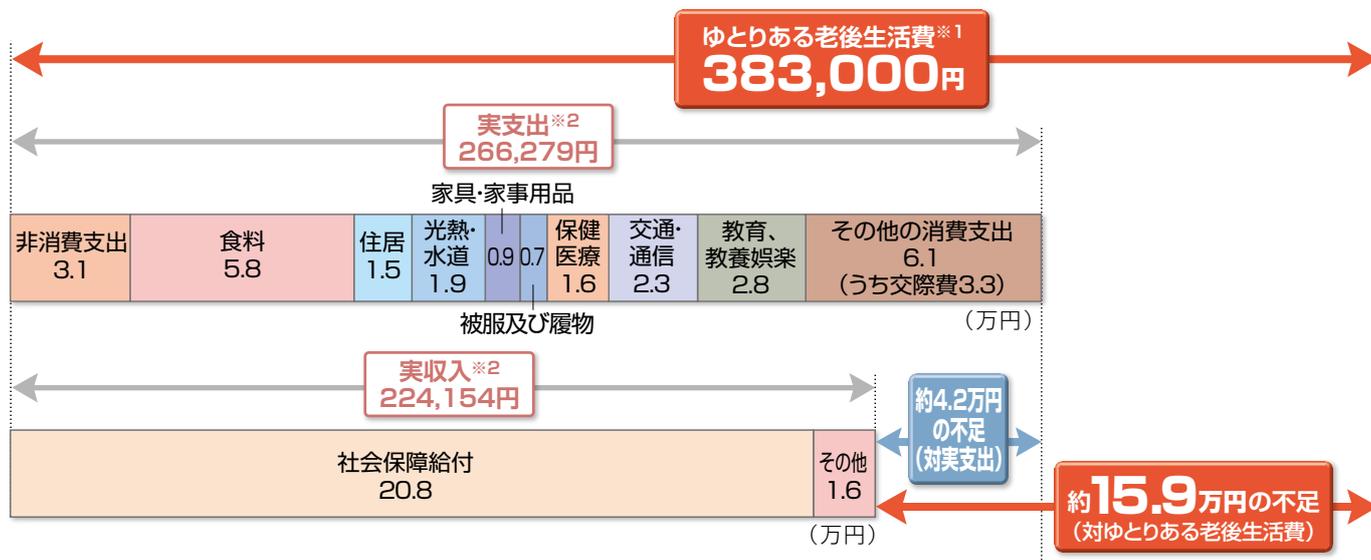


(注)左記データは、夫婦での「老後の最低日常生活費(1)」と、「老後のゆとりのための上乗せ額(2)」についていくら必要と考えるかを聞いた意識調査の結果。ゆとりある老後のための生活費とは、この(1)と(2)を合計した金額(サンプルごとに合計した値の平均値)。

だけど

社会保障給付だけではまかなえないかもしれません

社会保障給付だけでは**約15.9万円不足**するというデータもあります。



※1 生命保険文化センター「平成19年度 生活保障に関する調査」

※2 総務省「家計調査年報(家計収支編) 平成21年」

*高齢者世帯1ヵ月あたりの平均的な収入と支出(高齢者世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上で構成する夫婦一組で、世帯主が無職の世帯としています)。

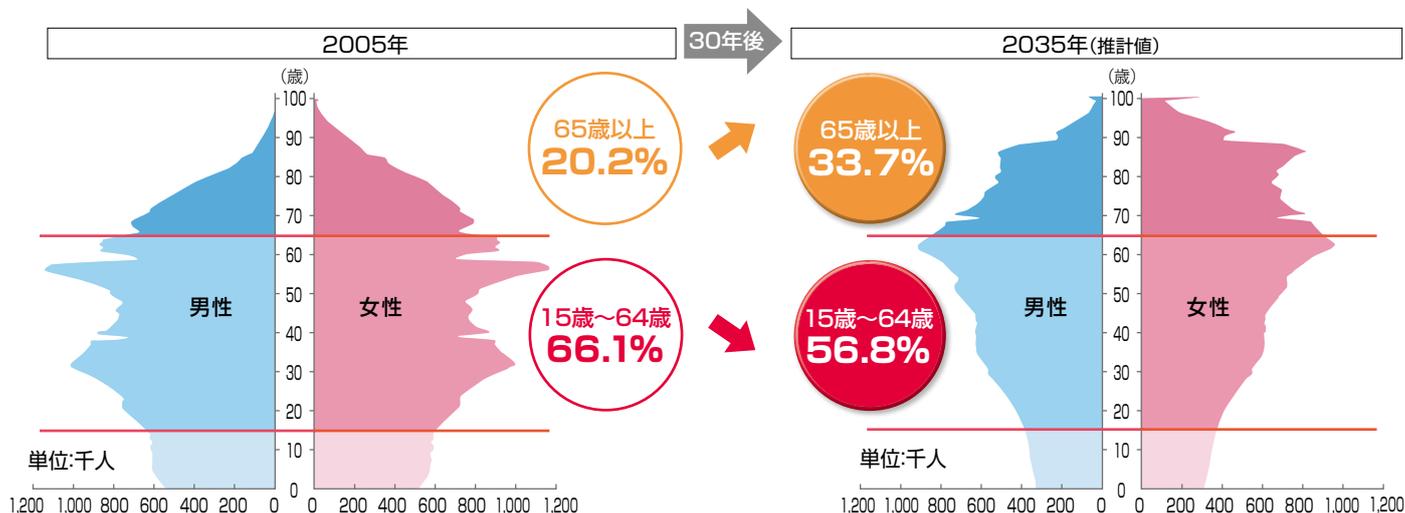
あなたは老後、いくらくらい必要でしょうか？

しかも

少子高齢化は今後もますます進行すると予測されています

2035年には64歳以下の人口が約10%減少すると予測されています。

男女年齢別人口の推移



(注) 2005年は実績値、2035年は出生中位(死亡中位)推計です。
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」

現在の公的年金制度は若い世代から徴収した保険料を高齢者に給付するしくみです。

30年後

このままでは、将来受給できる額に影響が出る可能性があります。



国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成18年12月推計)
 総人口、年齢4区分(0~19歳、20~64歳、65~74歳、75歳以上) 別人口及び年齢構造係数: 出生中位(死亡中位)推計をもとに当社にて試算

年金制度改革も検討されています

所得による年金額調整

受給年齢の繰り下げ

年金額削減



セカンドライフ資金の確保は自助努力が必要かもしれません。